



WEひろば

No.51

大和市福田1-9-4-107

TEL&FAX: 046-269-1343

発行責任: NPO法人WE21ジャパン大和

代表: 小宮 千菊

WE21ジャパン大和は、アジアの女性たちの自立支援 リユース・リサイクル推進を目的としたNPO法人です。

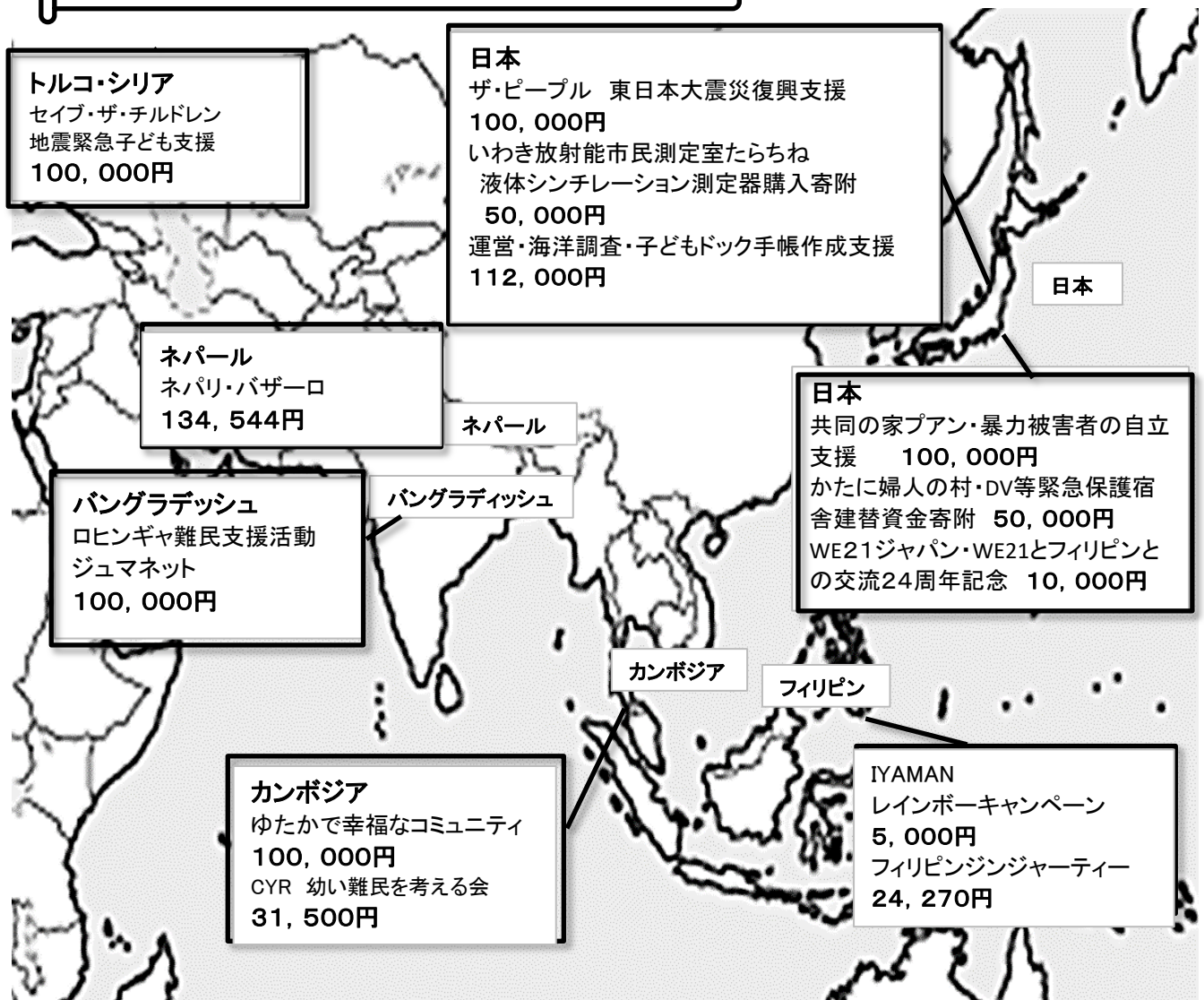
2022年度活動報告

2022年2月24日に開始された突然のロシアによるウクライナへの軍事進攻により、ウクライナ市民の犠牲は増え続けており、国際社会からはロシアへの厳しい非難の声があがりました。核攻撃も辞さないとするロシアの姿勢は当然避難されるべきですが、ウクライナへの武器支援が解決の近道とは思えません。

コロナ禍を皆様のお支えにより乗り越えてきた1年間でしたが、少しずつ明るい兆しも見えて来ています。ボランティアの皆さんと頑張ったと胸を張ってご報告できることがうれしいです。2022年度は、758,500円の支援を行うことができました。心より感謝申し上げます。

2022年度 WE21ジャパン大和支援

* 物品売り上げ額 270,814円



第21回通常総会 開催報告

5月26日（金）に第21回通常総会を開催しました。新型コロナウイルス感染症が5類に移行したこともあり、4年ぶりに来賓の方々にもご出席いただいたの開催となりました。皆様のご協力により定足数もクリアし、全議案とも可決されました。

WE講座を開催しました

総会後に支援先の「特定非営利活動法人いわき放射能市民測定室たらちね」の理事木村亜衣さんから、「知っていますか？フクシマの今」と題したお話を伺いました。たらちねは、被災地の母親たちが、家族と子どもの命を守るために、安全な食材を求めて始めた放射能測定室です。主な活動は、こころのケア、こども保養相談、クリニック、甲状腺検診、放射線測定などです。

たらちねで実施している親子間の尿中セシウム測定値は子どもの方が値が高くなっていて、地産地消をすすめる学校給食なども影響しているのではと話されていました。

帰還困難地域で最近一部避難指示が解除になった大熊町の放射線の数値を心配するお母さんたちと共に放射線測定を実施したそうです。学校予定地の裏の林などに高めの数値が出たそうです。そもそも、解除にするにあたっての放射線の限界数値は、高めに設定されていて、その数値を越えると労災レベルとのことでした。

原発事故から12年、被災地の課題はまだまだ大きいと感じました。

ボランティアさんから一言(WE講座に参加して)

遠い所を来ていただき、貴重なお話をしていただき、ありがとうございました。原発事故から大分年月も経ち、私など申し訳ないことながら忘れかけているような状態でした。そんな中、お母さん方が子どもたちのために、保養の活動や海水の測定などをしていらっしゃることに頭がさがりました。(I)

知らないということは怖いことだと思った。実際には行かれないので、こういう機会があったらまた、お話を聞きたい。身近なできることをさがしたい。毎日を見直したい。(OZ)

神奈川にいと、そんなに離れていないのに福島を遠くに感じてしまっている自分がある。2011年の原発事故の時、その近くに住んでいた人、特に子どものいる家族にとって、今までもずーっと続く苦しみ、悩みは終わることがない。特に人との関係性による悩みがやるせない。国の役人に傷つけられるつらさが印象的だった。忘れないで支えることでエールを送りたいと思った。(OY)



これからの予定

- ★フードドライブ 8月1日（火）
- ★夏季休業 8月11日（金）～16日（水）
- ★世界貧困撲滅デー 10月17日（火）
- ★フードドライブ週間 10月16日（月）～21日（土）

賞味期限が2か月あるもののご提供をお待ちしています。



ホームページ



Instagram